

九州自然歩道

九州自然歩道は、九州の7県すべてを縦断する、総距離約3,000キロメートルの日本で2番目に長い国立自然歩道です。この道は北は福岡県の皿倉山から南は鹿児島県の佐多岬まで伸びています。1980年に開通した九州自然歩道は、沿道のさまざまな美しい景色や文化的名所、史跡によって散策を楽しむ人の心をつかんでいます。

どこから歩き始めるか、またはどこまで歩くかを問わず、九州の素晴らしい自然の中で遊歩道をたどることは忘れられない経験になるでしょう。4つの国立公園（西海国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、雲仙天草国立公園、霧島錦江湾国立公園）と4つの国定公園を通る九州自然歩道は、人里離れた山々や沿岸の漁場、豊かな農地、趣のある村を縦走しています。霧島錦江湾国立公園の桜島など、活火山の近くでのトレッキングは、九州自然歩道の醍醐味のひとつです。

鹿児島県には、宮崎県との県境に近い霧島市から約560キロメートルの九州自然歩道が通っています。道は大隅半島の南端にある南大隅まで伸びています。隣の薩摩半島方面に延びる道は枕崎から薩摩川内を通して伊佐に至り、熊本県に続きます。